

**「海のアマゾン」の保護を:  
金融機関は、VIPでの化石燃料ガス・LNGプロジェクトから  
撤退してください！**

フィリピンには「海のアマゾン」と呼ばれるヴェルデ島海峡(VIP: Verde Island Passage)があり、そこは世界で最も豊かで生産性の高い、生物多様性に富んだ海域のひとつである<sup>1</sup>。これは140万ヘクタール以上に及ぶ海洋回廊で、世界の近海魚の生物多様性の中心地であり、世界で認知されている近海魚種の60%が生息し、コーラル・トライアングルの他の地域に繋がっている<sup>3</sup>。1,736種以上の魚類、338種のサンゴ類、その他数千種もの生物がここに生息している<sup>4</sup>。

海のアマゾンは世界の食料安全保障と地球上の生命を支えており、フィリピンは世界有数の海産物の生産国であり、かつ輸出国である<sup>6</sup>。また、地元の観光業、漁業、その他の海洋産業を通じて、何百万人もフィリピン人にとって重要な生計手段となっている<sup>7</sup>。

このように多くの重要な役割を担っているにもかかわらず、周辺地域では数多くの開発が行われ、現在VIPを脅かしている。いくつか例を挙げると、そこで生息する多様な海洋生物群は、環境に無配慮な観光、化学物質汚染や水質汚染、持続可能でない漁法、廃棄物の不適切な処理などに対して脆弱である。しかし、バタンガス州の化石燃料ガスと液化天然ガス(LNG)産業の大規模な拡大ほど、破壊的なものはない。

フィリピンのコミュニティや市民運動が石炭の反対運動に苦勞して勝利した結果、石炭(火力発電所)の計画が縮小されたため、現在、フィリピンは次善のエネルギー源として別の化石燃料に目を向けている。エネルギー開発の当局者たちは、ガスが安価で信頼性が高く、クリーンなエネルギーの未来に必要なつなぎの燃料であるというガス産業の欺瞞に陥り、その吹聴者と化している。海のアマゾンは、不幸にもガスの大規模拡張計画の震源地となっている。近接する4つの州の一つであるバタンガス州に、全国にある既存のガス火力発電所6案件のうち5案件があるばかりか、新規発電所27案件のうち8案件(計29.6 GW中11.8 GW)、そして計画中のターミナル9案件のうち7案件があるためである。



今日、バタンガス州内で最も進んだ開発段階にある複数のプロジェクトは、ガスとLNGの新たな波がVIPやその他の影響を受ける地域にもたらすであろう破壊的な影響を垣間見せてくれる。その一例となるイリハン村とデラパス村は、リンシード・フィールド・パワー社 (Linseed Field Power Corporation) 及びアトランティック・ガルフ・アンド・パシフィック社 (Atlantic Gulf and Pacific Co.) が進めるLNGターミナルの事業地で、国内初のLNG輸入施設となる予定である。

2022年3月12日現在、リンシード／AG&PIは、事業地の区分をアグロフォレストリー地区から工業地区へ開墾・転換する手続きにおいて違法性に関する懸念が指摘される中、沿岸の事業地の整地作業を進めている。丘陵地から切り出された土は、輸入施設の棧橋を建設するため海に、そしてこの地域の水中海洋生物の上に投棄されている。イリハン・ガス火力発電所 (1,200 MW) に目を移すと、過去20年間してきたように、汚れた空気と不自然なまでに温かい水を海に吐き出し続けている。推進派の計画通りに進めば、この発電所は、エネルギー大手サンミゲル社 (SMC) が年内に1号機の試運転段階を開始しようとしている新しい発電所 (1,700 MW) と共に、2022年6月までにリンシード社のターミナルからガスの供給を受ける予定である。

2021年10月、研究者とダイバーは、これらのプロジェクトが推進された場合の海洋生物への影響を調査した。以下の写真は、リンシード社の棧橋も現在建設中であるイリハン-デラパス村の複数の事業地の海岸沿いの調査現場で撮影された写真の一部である。



Land landscape of the site



Panoramic view of the reef



School of redtoothed triggerfish  
(*Odonus niger*)



Redtoothed triggerfish  
(*Odonus niger*)



*Odonus niger* hiding in a crevice



Morish idol  
(*Zanclus cornutus*)

(上段左から: 事業地の風景、珊瑚礁の様子、アカモンガラ(学名: *Odonus niger*)の群れ)

(下段左から: アカモンガラ(学名: *Odonus niger*)、割れ目に隠れるアカモンガラ、ツノダシ(学名: *Zanclus cornutus*)



Eel



Massive *Cyphastrea*



Coral recruit (*Acropora*)



Coral recruit (*Fungia*)



Other fauna (Ascidians)



Other fauna (Sea stars)

(上段左から: ウナギ、大きなフカトゲクメイシ(学名: *Cyphastrea*)、ミドリイシ属(学名: *Acropora*)の幼生加入・着生)

(下段左から: クサビライシ(学名: *Fungia*)の幼生加入・着生、ホヤ、ヒトデ)



*View of the site area in October 2021 (2021年10月の事業地の様子)*

建設前の破壊的影響に加えて、リンシード／AG&Pの新しいターミナルとバタンガス州における残りの計画は、VIPでの海運活動の増加を告げるものである。

VIPは、ガス産業が引き起こそうとしている破壊的影響の氷山の一角に過ぎない。同様の影響は、国中で計画されているガスプロジェクトを受け入れる沿岸のコミュニティでも見られるだろう。その多くは、この国で石炭拡張の先陣を切った同じ企業、つまりSMCのなしているものである。タノン海峡に面した西ネグロス州サンカルロス市のLNG火力発電所(300 MW)、レイテ州タバング町の沿岸及び農業地帯のLNG火力発電所(600 MW)、南サンボアンガ州サンボアンガ市のLNG火力発電所(300 MW)、国内の漁業中心地ナボタスの12基に及ぶ巨大なLNG施設(6,492 MW)など、挙げ始めたらきりが無い<sup>11</sup>。

フィリピンとアジアにおけるガスプロジェクトの大規模な拡大は、気候危機が激化する中、脆弱なコミュニティや生態系への死刑宣告でもある。しかし、ガス産業は、石炭をベースとするエネルギー・セクターの救世主ではない。石炭よりも炭素集約度は低いものの、熱を閉じ込める能力が20年間でCO<sub>2</sub>の80倍にもなる温室効果ガスであるメタンを大量に放出する。

政府や民間、特に金融機関がガスの火を煽っていないければ、このような拡大は起こらなかっただろう。VIPをはじめとする多くの海岸が不毛の地となり、多くの海が生命を奪われ、新しいガス火力発電所とターミナルが海洋生物にとって致命的となる操業を開始するまでには、まだ時間がある。海のアマゾン破壊する行為に加担しないよう、私たちは強く求める。

また、大気汚染や水質汚濁に関する規制の強化、エネルギー転換に向けた政策、気候変動訴訟のリスク、社会の様々なセクターからの強い反対を踏まえて、ガス事業への投資のリスクを見極めるといった最高度の努力をするよう忠告する。ガスプロジェクトが最悪の投資であることを理解するのは、今からでも遅くはない。

リンシード／AG&P、SMC、そしてVIPにおける他のガスプロジェクトを中止してください! 海のアマゾン、そしてフィリピンとアジアで影響を受けるすべてのコミュニティと生態系を化石燃料ガス事業から保護してください!

(106団体署名のリンクは[こちら](#))

脚注:

<sup>1</sup>Conservation International Philippines, “Protecting the Natural Riches of the Verde Island Passage”, accessed April 22, 2021 at

<https://www.conservation.org/philippines/projects/verde-island-passage>

<sup>2</sup> Saul Pa-a, “Declaration of Verde Island Passage as World Heritage Site sought”, Philippine News Agency, September 24, 2018. Accessed on April 23, 2021 at

<https://www.pna.gov.ph/articles/1048958>

<sup>2</sup> Conservation International Philippines, “Protecting the Natural Riches of the Verde Island Passage”

<sup>4</sup> Coral Triangle Initiative, “Five Provinces And National Agencies Join Forces To Protect And Conserve The Verde Island Passage”, April 6, 2017, Accessed on May 3, 2021 at

<https://www.coraltriangleinitiative.org/index.php?q=news/five-provinces-and-national-agencies-join-forces-protect-and-conserve-verde-island-passage>

<sup>5</sup> Shana Angela S. Cervania, “Protect VIP for the sake of its ecosystem and local communities –SEA Institute”, Manila Standard Digital. September 30, 2019. Accessed on May 3, 2021 at

<https://manilastandard.net/biyahero/travel-logs/307452/protect-vip-for-the-sake-of-its-ecosystem-and-local-communities-sea-institute.html>

<sup>6</sup> Jennifer Viron, “Country Fisheries Trade: Philippines”, Southeast Asian Fisheries Development Center. Accessed on October 5, 2021 at

<http://www.seafdec.org/country-fisheries-trade-philippines/>

<sup>7</sup> Shana Angela S. Cervania, “Protect VIP for the sake of its ecosystem and local communities –SEA Institute”, Manila Standard Digital. September 30, 2019. Accessed on May 3, 2021 at

<https://manilastandard.net/biyahero/travel-logs/307452/protect-vip-for-the-sake-of-its-ecosystem-and-local-communities-sea-institute.html>

<sup>8</sup> Official Gazette, “Executive Order 578” or “Establishing The National Policy On Biological Diversity, Prescribing Its Implementation Throughout The Country, Particularly In The Sulu Sulawesi Marine Ecosystem And The Verde Island Passage Marine Corridor”, accessed on April 18, 2021 at <https://www.officialgazette.gov.ph/2006/11/08/executive-order-no-578/>

<sup>9</sup> The task force is composed of the Department of Environment and Natural Resources (DENR), Department of Tourism (DOT), Department of Science and Technology (DOST), Department of Agriculture (DA), Department of Health (DOH), Department of Energy (DOE), Department of Transportation and Communication (DOTC), Department of Foreign Affairs (DFA), Department of Trade and Industry (DTI), Department of Interior and Local Government (DILG), the National Economic Development Authority (NEDA), and all concerned local government units

<sup>10</sup> Agencies include DENR, the Bureau of Fisheries and Aquatic Resources (BFAR), the Philippine National Police (PNP), and the Philippine Coast Guard (PCG)

<sup>11</sup> Shana Angela S. Cervania, “Protect VIP for the sake of its ecosystem and local communities –SEA Institute”

<sup>12</sup> Union of Concerned Scientists, “Environmental Impacts of Natural Gas.”, Accessed at <https://www.ucsusa.org/resources/environmental-impacts-natural-gas>

(翻訳責任: FoE Japan)